

ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2004年（平成16年）6月15日号 No. 1297

目次

● CIS諸国のエネルギー生産・輸出入量	1
● エトセトラ	9
『調査月報』2004年6月号のご案内／9	
最新の特別報告書のご案内／9	
ポーランド経済・投資セミナー／9	
● ロシア東欧貿易会関連の行事予定	10
● CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	10

CIS諸国のエネルギー生産・輸出入量

はじめに

CIS統計委員会の刊行する『統計通報』（2004, No.7）に、CIS諸国のエネルギー生産、輸出入、消費量に関する統計データが特集で掲載されている。これらのデータがこのようにまとまった形で発表されるのは、きわめて珍しい。周知のように、ロシアをはじめとして、CISにはエネルギー産業が基幹産業になっている国が少なくなく、そうでない国にとってもエネルギーの需給は経済の浮沈を握る重要な要因である。そこで今回の速報では、『統計通報』に掲載された統計データを当会独自に再編集してお届けすることにする。

CISはバルト3国を除く旧ソ連12カ国によって構成されているが、今回の資料ではウズベキスタンを除く11カ国の数字が示されている。常日頃データを出し渋る2国のうち、トルクメニスタンの数字が（不完全ながら）出ているのが、本資料の特徴だ。扱われている品目は、①電力、②天然ガス、③原油、④ガソリン、⑤軽油、⑥重油、⑦石炭である。それぞれの品目について、2000～2003年の各国の生産量、輸出量、輸入量、国内消費量が示されている。消費量は、生産－輸出＋輸入によって単純に算出した見かけ消費量であり、現実には輸送中のロスや在庫の増減などがあるので、実際の消費量とは微妙なずれがある。なお、表中の「－」は当該データが不在なことを、「…」は不明なことを意味している。